



3月の園だより

令和8年3月2日

目黒区立八雲保育園 園長

～心も体も大きくなった…そして新しい場所へ～

玄関先に舞い落ちる花びらを見ていると、すぐそこまで来ている新しい季節を感じさせてくれます。

ある日の保健室では身体計測に来る子どもたちの声が賑やかに聞こえてきました。「大きくなったね」と看護師と目を合わせる1歳児の姿からは誇らしさが伝わってきます。4月当初は「何かあるんだろう」と保健室に入ることも心配そうにしていました。保育室に計測台を入れて職員数名で計測していた頃が懐かしく、今では自分から何かに向かおうとする子どもたちの姿に心も体も大きな成長を感じています。

また、今年度から学区域ごとの小学校、公私立保育園職員の懇談会が開催されています。就学までの過程でさまざまな交流を子どもたちだけではなく職員間でも進めていこうという取り組みです。宮前小学校、八雲小学校との懇談会では就学以降の卒園児の様子を知ることができました。「大きな集団に圧倒される子もいるが子ども同士で助け合う姿が頼もしく、保育園時代に人との関わりを大切に積み重ねていることが小学校生活にとっても活かしている」という職員の皆様の言葉が印象的でした。今後は授業・保育参観や意見交流の機会を計画する見通しもあります。保育園時代に大切に育んだ力が途絶えることなく、その後の子どもたちに繋がる保育・教育を連携して進めていきたいと思いません。

今月の行事予定

卒園お祝い会（4・5歳児）
なかよし散歩（3・4・5歳児）
移動日（全園児）
お別れ会（全園児）
身体計測 避難訓練

来月の行事予定

入園進級お祝い会
春の遠足（4・5歳児）
避難訓練 身体計測
全体保護者会

***3月26日（水）夕方より、
進級するクラスで過ごします。（移動日）**

しろくま組（5歳児クラス）
～友達と色々なことを乗り越えて～



園庭でたくさん子どもたちが集まり、氷鬼を楽しんでいました。数名の子が「ここはタッチされないことにしよう」と自分たちで新しいルールを作っていました。すると鬼役の子から「なんでそんなルールになってるの?」という声が聞こえてきました。保育士が様子を見守っていると、一人の子が「どうしたの?」と気付き、みんなを集めます。鬼役の子の気持ちを聞くと、ルールを変えた子どもたちもハッとした様子で「ごめんね」と謝り、「じゃあこういう時はどうする?」「その時はこうしよう」と、子どもたち同士で改めて約束を確認し合っていました。最後は全員が納得し、満足そうな表情でまた元気に走り出していきました。

これまで様々な場面で、考えを伝え合い、相手の考えにも耳を傾けることを大切に積み重ねてきました。たくさんぶつかり合う経験を通して、「どうしたら思いが伝わるだろう」と考え、友達の気持ちにも思いをめぐらせる姿が見られるようになっていきます。友達と考え合い、認め合いながら遊びや生活を進めていこうとする姿には、大きな成長と頼もしさを感じます。

保育園での様々な経験を胸に、一人ひとりが自信を持って、次の一歩へ羽ばたいてほしいと願っています。

～こんなにおおきくなりました～

めだか組（0歳児クラス）

安心できる環境の中で、子どもたちは思い思いに自分の好きな遊びを楽しむようになりました。

積み木を積み上げたり、穴の開いた容器にチェーンリングを落とそうと真剣なまなざしを向けています。うまくいった瞬間に近くにいる保育士や友達に『できた』という得意そうな表情をし、笑いあう楽しい姿も見せてくれます。

身近な保育士と楽しい発見を共有しながら、より楽しいものを見つけようと探索する姿に頼もしさを感じています。

あひる組（1歳児クラス）

友達がやっている遊びにも興味が出てきています。「ここ（腕）いたいの」という子どもに保育士がマジックテープ付きの細長い布（絆創膏の見立て）を巻いていると、他の子もやってきて患者になっています。そのうちにお医者さんになる子も出てきて「どこいたいの」「ここいたいの」とやりとりを、子ども同士でもしています。「おくすり」と小さな指でぬりぬりする姿もかわいいです。おしゃべりが上手になり、友達と一緒に遊ぶことが楽しくなっています。



らっこ組（2歳児クラス）

散歩に行く時、「Aちゃんと手を繋ぎたいの」と保育士の所にBちゃんが来ました。一緒に手を繋げるか聞きに行くとAちゃんは他の子と手を繋いで行くことを決めたようです。帰りは一緒に手を繋ぐ約束をするとBちゃんは納得して散歩に出かけました。

この一年で友達と遊ぶことが楽しくなってきました。自分の思いが友達に通じず、もどかしい思いを抱えることもあります。それでも一緒に遊びたいという気持ちも強くなっています。

これからも、保育士と一緒に友達と関わる事の楽しさを味わえるような経験を重ねていきたいです。

ぺんぎん組（3歳児クラス）

園庭や散歩先では、「一緒に遊ぼう」「鬼ごっこしよう」「鬼決めしよう」と、子どもたち同士で声を掛け合っている姿が見られています。何をして遊ぶかを友達と一緒に決めるところからもう、ワクワクした気持ちが溢れています。

これまで保育士や友達とたくさんの“楽しい”を共感してきたことで、みんなで遊ぶともっと楽しい、友達と一緒に嬉しいという気持ちが育ってきました。



いるか組（4歳児クラス）

運動会で披露した鉄棒は、今でもいるか組の大好きな遊びのひとつです。

前回りやコウモリ、逆上がりに挑戦し、成功すると「できたよ!」と嬉しそうに教えてくれます。以前は失敗すると気持ちが止まってしまうこともありましたが、今では諦めずに何度も挑戦する姿が増えてきました。

しろくま組の子どもたちや友達の姿に刺激を受けながら自分もやりたいと挑戦をして自信を重ねています。そして、もうすぐしろくま組になることへの期待を膨らませています。

